

【これからのまちづくり】

- 検討会議での意見がどう実現するのか、確認できる場を設定して欲しい。(具体化に不安！)
- “まちの声”をベースに、(特に労働関係については)市・府・国ともはいつて議論・意見できる場を設けて欲しい。
- 社会が大きく変化している今、現在と将来を見据えて「変化」を受け止める事ができる計画にすべきである。
- このような町会・支援者・各種施設・行政など多様な主体が関わる機会は重要であるので、継続的な機会を求める。(当事者の声を拾い上げるシステムは必須)

【萩之茶屋小学校の活用】

- 「萩の森」は、地域で数少ない緑の拠点なので、こどものためにもプレイパークなどで地域に有効な活用をめざしたい
- 地域防災の拠点機能を盛り込みたい。
- 「防災・こども・地域」が効果的につながる住まいづくりなどで活用できればよい。

■現状・全体意見

【基本の考え方】

- 地域に役立つ土地利用の話し合いの場を設けてほしい
- 多様な主体の話し合いの場は必要
- センター利用者限定でなく、センター内・外に開けるように
- “あってよかったな”と思えるセンターにしたい
- 前提条件に疑問
 - ・地図上にあいらん地域がない。あいらんの提議があいまい
 - ・そもそも「あいらん地域」とは?
 - ・区全体も意識して
- 情報が少ないので、議論が進められない
 - ・現状の機能についての情報を共有
 - ・活用できるスペース(土地、建物)についての情報
 - ・地域の各団体、住民の意見を聞く機会を増やして
 - ・地域に役立つ土地利用の話し合いの場
 - ・地域の要望を聞かないと議論できない
- どんな人でも受け入れられる町に
 - ・仕事と子育てが一体にできるまちに
 - ・仕事を求めて地域にやってくる。仕事がないと来ない
 - ・排除ではなく、多様な主体と一緒にやっていくことが重要(野宿生活者や労働者、子ども、町会など)
 - ・新しい人が入ってくるのに必要な機能は何か
- 今ある機能をキチンと捉えてから議論を
 - ・3つ(社医C、住宅、労働福祉C)の枠組みだけでなく、現場でつくられてきた機能も把握(時代とともに機能は大きく変化している)
 - ・居場所や現場での支援などの機能も再確認
 - ・新たにつくる必要のある機能は何か検討を
 - ・機能の議論の順序として①住宅→②社医C→③労働福祉Cが良いのでは
- 急ぐテーマ、時間をかけるテーマを分ける
 - ・住宅をとるだけで10年かかる…?現実味がない
 - ・住宅のように急ぐものと労働系のような時間をかけるテーマ
 - ・どれくらいの期間、規模でまちづくりを考えるのか
 - ・若い世代を呼ばないと長い計画が持続しないのでは?
 - ・このような、みんなが意見の言える場を継続してほしい
 - ・市・府・国と議論・意見できる場が必要
 - ・まちの将来イメージの共有が重要(将来予想+夢、どんなまち?)

【地域課題との関係】

- 違法駐車・駐輪対策(地域内に駐車場を確保)
- 1.2丁目に子育て世代を入れるのは難しい

【耐震・防災】

- 耐震性が確保できていない、本当に建替えが必要か?
- 地域内に避難所が必要(防災というテーマが大事)

【公園】

- 三角公園に老人を住まわせてどうする
- それぞれの公園にはそれぞれの機能がある。ただし、一般的な公園としては機能していない部分もある
- 単なる空地ではないので、拙速に他の機能を再配置するのはよくない

【小学校跡地】

- 地域防災の拠点である
- こども教育の拠点、プレーパークなど
- 萩の森は、子どもたちのために残して活用
- 萩の茶屋小学校跡地の活用のあり方が重要
 - ・市にはビジョンがない
 - ・京都のような方針をつくるべき
- 小中一貫校
 - ・児童300名→48名(萩之茶屋地区)1/6になった原因は?
 - ・今宮小中一貫校ができたが、将来も減少する可能性はある
 - ・小中一貫校じゃなく鶴見橋地区も一緒に考える
 - ・一貫校に通学させようと思っている親は約100名(他区からの流入希望者)
 - ・小中一貫校は興味ある。これを機会に魅力をつくる

■これからの機能

【機能構成】

- 機能は分散（バラバラに）してもよい。機能ごとに、規模・立地・手法を考える
- まちの機能が有機的に結びつくように
- 新しい機能的なものに、今の時代にフィット
- 今必要なものと将来必要なものが違う。切り替えられるようにした方がよい
- センターの機能だけでなく、地域一体でイベント等できるような開発を
- センターを多目的にいろいろな人がシェアできるように

【新しい機能】

- 防災機能は公共施設等には必要
- 防災機能や文化・藝術はセンターの兼用が可能（時間帯を変えて）
- 複合機能
 - ・コミュニティ・文化施設　・住宅＋医療＋文化施設　・銀行、郵便局など
 - ・住宅＋病院＋遊び場＋防災（避難所）を一体で考える
- その他
 - ・総合センターと小学校の間の道は不要　・住民登録などができるように

■必要な規模

- 現在の利用ニーズにあった機能に、必要な規模
 - ・現機能の利用者減少（5～10年後労働者はもっと減少する）　・利用現況（実態）を考えて機能、規模を考えるべき
 - ・大きなものでなく小さなものから個のまちのポテンシャルを試すことが重要では？
 - ・現状規模は必要ではないか　・規模は縮小したとしても機能は充実させる
 - ・利用状況に合わせた、融通の利く空間利用が必要

■更新方法・立地

【更新方法】

- ・耐震後15年（耐用年数）なら効果少ない

【どこに更新するか？】

- 立地の考え方
 - ・土地の確保が困難
 - ・センターは駅前に必要か？駅前の賑わい・新今宮の顔
 - ・あいらん地域外への移転は難しい
 - ・同規模一体移転先はあいらん地域内にない
- 考えられる場所
 - （駅周辺）
 - ・新今宮駅北の土地はどうか？
 - ・現あいらん総合センター一帯を南側に圧縮して北側に駅前としてのスペースをつくるのはどうか
 - （公園）
 - ・三角公園はどうか？　・公園が使えていない
 - （小学校）
 - ・小学校周辺エリアで移転配置はどうか？　・今ある広いスペースとしての運動場の空間利用
 - （ゾーン配置）
 - ・南海の西側は教育エリア、東側は労働エリアとして配置してはどうか
- 活用できそうなスペース
 - ・市更相　・東田保育所　・萩之茶屋小学校の運動場　・シェルター計画地（三徳寮東隣）　・公園
 - ・南職安　・その他、大阪市関連の土地は？
- 残したい場所
 - ・萩小のい「萩の森」は残したい（地域唯一の緑）